

本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 計 3,200 千円.

- 2) 研究代表者 荒井良明: 顎関節モビライゼーション治療による症状改善機序の解明. 科学研究費補助金応募支援プログラム経費, 平成 23 年度 250 千円.
- 3) 研究代表者 奥村暢旦: インプラントの最適配置診断システムの開発. 科学研究費補助金応募支援プログラム経費, 平成 23 年度 250 千円.

【講演・シンポジウム】

- 1) 荒井良明, 佐藤孝弘: あとあと困らないためのインプラント治療. 東日本大震災チャリティー講演会, 山形市, 2011 年 10 月 16 日.
- 2) 荒井良明, 佐藤孝弘: あとあと困らないためのインプラント治療. 東日本大震災チャリティー講演会, 新潟市, 2011 年 11 月 13 日.

【学会発表】

- 1) 小菅健裕, 安島久雄, 八木 稔, 池田順行, 嵐山貴徳, 大貫尚志, 齋藤太郎, 荒井良明, 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院顎関節治療部における顎関節症Ⅲb/Ⅳ型の臨床統計的検討. 第 49 回 NPO 法人日本口腔科学会・第 37 回社団法人日本口腔外科学会北日本地方会. 新潟市, 2011 年 5 月 21-22 日. 第 37 回社団法人日本口腔外科学会北日本地方会抄録集, 52 頁, 2011 年.
- 2) 新国 農, 西山秀昌, 桜井直樹, 荒井良明, 林 孝文: 顎関節部 MRI の応用—痛みを有する咬筋 T2 値の左右差について—. 第 24 回日本顎関節学会総会・学術大会, 広島, 2011 年 7 月 23 日, 日本顎関節学会雑誌 23 巻特別号: 87 頁, 2011.
- 3) 齋藤太郎, 安島久雄, 池田順行, 高木律男, 小山純市, 西山秀昌, 林 孝文, 常木雅之, 朔 敬: 下顎頭肥大を伴った滑膜性骨軟骨腫症の 1 例. 第 24 回日本顎関節学会総会学術大会, 広島, 2011 年 7 月 23-24 日. 第 24 回日本顎関節学会総会プログラム抄録集, 93 頁, 2011 年.
- 4) 西山秀昌, 新国 農, 桜井直樹, 荒井良明, 林 孝文: 非復位性円板前方転位における円板前方端の可動範囲について. 第 24 回日本顎関節学会総会・学術大会, 広島, 2011 年 7 月 23 日, 日本顎関節学会雑誌 23 巻特別号: 97 頁, 2011.
- 5) 小菅健裕, 八木 稔, 安島久雄, 池田順行, 嵐山貴徳, 山田裕士, 高木律男: 学童期における顎関節雑音の発生率とその推移. 第 24 回日本顎関節学会総会学術大会, 広島, 2011 年 7 月 23-24 日. 第 24 回日本顎関節学会総会プログラム抄録集, 99 頁, 2011 年.
- 6) 泉 直也, 小林正治, 高田佳之, 荒井良明, 西山秀

昌, 齊藤 力: 開口を呈した退行性顎関節疾患の 1 例. 第 24 回日本顎関節学会総会・学術大会, 広島, 2011 年 7 月 23 日, 日本顎関節学会雑誌 23 巻特別号: 108 頁, 2011.

- 7) 奥村暢旦, 荒井良明, 田中 裕, 高嶋真樹子, 高木律男: 顎関節症患者の自我状態の検討. 第 24 回日本顎関節学会総会・学術大会, 広島, 2011 年 7 月 23 日, 日本顎関節学会雑誌 23 巻特別号: 128 頁, 2011.
- 8) 星名秀行, 山田一穂, 勝見祐二, 小川 信, 嵐山貴徳, 荒井良明, 魚島勝美, 高木律男: 口腔腫瘍切除後インプラントを用いた再建の機能的評価. 第 15 回日本顎顔面インプラント学会総会, 千葉, 2011 年 12 月 3-4 日. 第 15 回日本顎顔面インプラント学会学術大会抄録集, 123 頁, 2011 年.

【その他】

- 1) 荒井良明: 平成 23 年度新潟大学医歯学総合病院功労賞. 2011 年 9 月 6 日.

研究推進機構超域学術院

【著書】

該当無し

【論文】

- 1) Okui T, Aoki Y, Ito H, Honda T, Yamazaki K: The presence of IL-17+/FOXP3+ double-positive cells in periodontitis. J Dent Res, in press.
- 2) Honda T, Takahashi N, Miyauchi S, Yamazaki K: *Porphyromonas gingivalis* lipopolysaccharide induces miR-146a without altering the production of inflammatory cytokines. Biochem Biophys Res Commun, in press.
- 3) Nakajima T, Okui T, Miyauchi S, Honda T, Shimada Y, Ito H, Akazawa K, Yamazaki K. The effects of systemic sitafloxacin on periodontal infection control in elderly patients. Gerodontology, in press.
- 4) Miyashita H, Honda T, Maekawa T, Takahashi N, Aoki Y, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K: Relationship between serum antibody titers to *Porphyromonas gingivalis* and hs-CRP levels as inflammatory markers of periodontitis. Archs oral Biol, in press.
- 5) Miyauchi S, Maekawa T, Aoki Y, Miyazawa H, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K: Oral infection with *Porphyromonas gingivalis* and systemic

- cytokine profile in C57BL/6.KOR-*ApoE^{shl}* mice. J Periodontal Res, in press.
- 6) Miyazawa H, Honda T, Miyauchi S, Domon H, Okui T, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K: Increased serum PCSK9 concentrations are associated with periodontal infection but do not correlate with LDL cholesterol concentration. Clin Chim Acta 413(1-2): 154-159, 2012.
 - 7) Maekawa T, Tabeta K, Kajita-Okui K, Nakajima T, Yamazaki K: Increased expression of C-reactive protein gene in inflamed gingival tissues could be derived from endothelial cells stimulated with interleukin-6. Arch Oral Biol 56(11): 1312-1318, 2011.
 - 8) Takahashi N, Okui T, Tabeta K, Yamazaki K: Effect of interleukin-17 on the expression of chemokines in gingival epithelial cells: Eur J Oral Sci 119(5): 339-344, 2011.
 - 9) Yamazaki K, Tabeta K, Nakajima T: Periodontitis as a risk factor for atherosclerosis. J Oral Biosci 53(3): 221-232, 2011.
 - 10) Tabeta K, Tanabe N, Yonezawa D, Miyashita H, Maekawa T, Takahashi N, Okui T, Nakajima T, Yamazaki K: Elevated antibody titers to *Porphyromonas gingivalis* as a possible predictor of ischemic vascular disease - results from the Tokamachi-Nakasato cohort study. J Atheroscler Thromb 18(9): 808-817, 2011.
 - 11) Maekawa T, Takahashi N, Tabeta K, Aoki Y, Miyashita H, Miyauchi S, Miyazawa H, Nakajima T, Yamazaki K: Chronic oral infection with *Porphyromonas gingivalis* accelerates atheroma formation by shifting the lipid profile. PLoS One 6(5): e20240, 2011.
- の揺らぎと歯周疾患のパスウェイ解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 23390476, 2011.
- 3) 山崎和久: 歯周組織老化誘導病因論の確立. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 挑戦的萌芽研究, 23659974, 2011.
 - 4) 多部田康一, 山崎和久: 口腔-消化管の粘膜免疫システムを介した口腔感染と動脈硬化性疾患の関連機序. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 23593056, 2011.
 - 5) 中島貴子, 山崎和久, 多部田康一, 伊藤晴江: レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響-敵か味方か-. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 21390555, 2011.
 - 6) 中島貴子: 歯周病原細菌感染はNKT細胞活性化を介して骨吸収関連サイトカイン産生を増強するか. 新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2011.
 - 7) 本田朋之: IL-17と歯周病原細菌との相互作用から探る歯周炎病態メカニズム. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 23792470, 2011.
 - 8) 奥井隆文: 歯周病原細菌による Treg から Th17 への転換は破骨細胞形成を促進するか?. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 23792469, 2011.

【招待講演・シンポジウム】

【商業誌】

- 1) 山崎和久, 多部田康一: 心血管危険因子-生活習慣病の観点から-「歯周病」. MEDICINAL 1 (3): 86-93, 2011.
- 2) 山崎和久: 歯周病と動脈硬化性疾患. THE BONE 25 (4): 93-99, 2011.

【研究費獲得】

- 1) 山崎和久, 多部田康一, 中島貴子: 最先端医歯学の融合による口腔-全身問題の解決を目指す若手研究者養成プログラム. 日本学術振興会 頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム, S2203, 2011.
- 2) 山崎和久, 多部田康一, 中島貴子: 脂質代謝バランス
- 1) Yamazaki K: Periodontal disease and atherothrombotic diseases; Lessons from clinical and basic sciences. Keynote Lecture. QOL International Symposium, Niigata, February 9, 2012.
- 2) Yamazaki K: Periodontal disease and atherothrombotic disease; Lessons from clinical and basic sciences. Special Lecture. 30th Annual Academic Session of Korean Division of International Association for Dental Research, Seoul, Korea, November 24, 2011.
- 3) 多部田康一: 次世代『歯周病の科学』の構築「歯周炎と動脈硬化性疾患の関連メカニズムについて-P. *gingivalis* の脂質代謝変動への作用-」. 第135回日本歯科保存学会2011年度秋季学術大会, 大阪, 2011年10月21日, 同プログラム及び講演抄録集: 10頁, 2011.
- 4) 山崎和久: ペリオドンタルメディシン研究の現状と展望-日本人におけるエビデンス-「歯周病と動脈硬化-患者データは因果関係を示すか?-. 第54回秋季日本歯周病学会学術大会, 下関, 2011年9月24日, 日本歯周病学会会誌第53巻秋季特別号: 80頁,

2011.

- 5) 山崎和久：SPT 期活動性歯周ポケットに対するシタフロキサシン経口投与の有効性の検討. 第 31 回日本歯科薬物療法学会スイーツセミナー, 千葉, 2011 年 6 月 25 日.

【学会発表】

- 1) Nakajima T, Okui T, Kajita-Okui K, Miyauchi S, Yonezawa D, Yamazaki K: Sitafloracin is effective for reduction of pocket bacteria in SPT. Asian Pacific Society of Periodontology symposium. Hong Kong, China, September 9-10, 2011.
- 2) Tabeta K, Maekawa T, Takahashi N, Aoki Y, Miyashita H, Miyauchi S, Miyazawa H, Nakajima T, Yamazaki K: Oral infection with *Porphyromonas gingivalis* accelerates atheroma formation by shifting the lipid profile. The 2011 Gordon Research Conference on Periodontal Diseases: Shallot, NC, USA, July 17, 2011.
- 3) Nakajima T, Aoki Y, Miyashita H, Miyauchi S, Miyazawa H, Tabeta K, Yamazaki K: The effects of NKT cells on atherogenesis in *Porphyromonas gingivalis* infection model. 10th world congress on inflammation. Paris, France, June 28, 2011.
- 4) 青木由香莉, 宮下博考, 宮内小百合, 宮沢春菜, 中島貴子, 高橋直紀, 前川知樹, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染マウスモデルにおける炎症応答への NKT 細胞の関与. 第 135 回日本歯科保存学会 2011 年度秋季学術大会, 大阪, 2011 年 10 月 20 日, 同プログラム及び講演抄録集, 81 頁, 2011.
- 5) 本田朋之, 高橋直紀, 宮内小百合, 奥井隆文, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* LPS が microRNA 発現に及ぼす影響. 第 135 回日本歯科保存学会 2011 年度秋季学術大会, 大阪, 2011 年 10 月 21 日, 同プログラム及び講演抄録集, 73 頁, 2011.
- 6) Aoki Y, Nakajima T, Takahashi N, Maekawa T, Miyashita H, Miyauchi S, Miyazawa H, Tabeta K, Yamazaki K: NKT cells promote the inflammatory responses in *P. gingivalis*-infected mice. 第 59 回国際歯科研究学会日本部会 (JADR) 総会・学術大会, 広島, 2011 年 10 月 8 日, 同プログラム抄録集, 93 頁, 2011.
- 7) Okui T, Aoki Y, Ito H, Honda T, Yamazaki K: Identification of IL-17+FOXP3+ T cells in periodontitis lesions. 第 59 回国際歯科研究学会日本部会 (JADR) 総会・学術大会, 広島, 2011 年 10 月 8 日, 同プログラム抄録集, 58 頁, 2011.

- 8) 宮内小百合, 前川知樹, 高橋直紀, 多部田康一, 青木由香莉, 宮下博考, 宮沢春菜, 中島貴子, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染による脂質代謝関連遺伝子の変動. 第 54 回秋季日本歯周病学会学術大会, 下関, 2011 年 9 月 24 日, 日本歯周病学会会誌第 53 巻秋季特別号, 110 頁, 2011.
- 9) 宮沢春菜, 本田朋之, 宮内小百合, 青木由香莉, 宮下博考, 高橋直紀, 前川知樹, 奥井隆文, 土門久哲, 伊藤晴江, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎疾患が PCSK9 および脂質プロファイルに及ぼす影響. 第 54 回秋季日本歯周病学会学術大会, 下関, 2011 年 9 月 24 日, 日本歯周病学会会誌第 53 巻秋季特別号, 105 頁, 2011.
- 10) 奥井隆文, 青木由香莉, 伊藤晴江, 本田朋之, 山崎和久: 歯周炎病変部における IL-17+FOXP3+T 細胞の関与. 第 54 回春季日本歯周病学会学術大会, 福岡, 2011 年 5 月 27 日, 日本歯周病学会会誌第 53 巻春季特別号, 114 頁, 2011.

【研究会発表】

- 1) 宮内小百合, 前川知樹, 青木由香莉, 宮沢春菜, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染による全身応答-血清中サイトカインプロファイルの変化-. 第 4 回口腔環境制御研究カテゴリー集会, 長崎, 2012 年 1 月 27 日.
- 2) 多部田康一: 歯周炎と動脈硬化性疾患の関連メカニズム-炎症と血清脂質プロファイルの変化-. 第 10 回口腔医科学フロンティア学術集会, 大阪, 2012 年 3 月 3 日.

【受賞】

- 1) Aoki Y, Nakajima T, Takahashi N, Maekawa T, Miyashita H, Miyauchi S, Miyazawa H, Tabeta K, Yamazaki K: NKT cells promote the inflammatory responses in *P. gingivalis* infected mice. International Association for Dental Research Hatton Travel Award, 第 59 回国際歯科研究学会日本部会 (JADR) Hatton Travel Award, 2011 年 10 月 8 日.
- 2) Okui T, Aoki Y, Ito H, Honda T, Yamazaki K: Identification of IL-17+FOXP3+ T cells in periodontitis lesions. 第 59 回国際歯科研究学会日本部会 (JADR) 学術奨励賞, 2011 年 10 月 8 日.
- 3) 前川知樹, 高橋直紀, 本田朋之, 宮下博考, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 抗原および IL-6 刺激は血管内皮細胞において転写因子 Egr-1 を介して MCP-1 の産生を増強する. 2011 年度日本保存学会奨励賞, 2011 年 6 月 9 日.

- 4) 高橋直紀, 奥井隆文, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: ヒト歯肉上皮細胞のケモカイン産生における interleukin (IL)-17 の関与 -IL-17 受容体の発現とその機能解析-. 2010 年度日本歯科保存学会デンツプライ賞, 2011 年 6 月 9 日.

【その他】

- 1) 山崎和久: 歯周病と全身の健康. お口の健康からストップ ザ 老化. 平成 23 年度にいがた市民大学, 新潟, 2012 年 1 月 16 日.
- 2) 多部田康一: 歯周炎と全身疾患 - 歯科の立場から-. 高崎市歯科医師会 学術講演, 高崎市, 2011 年 11 月 12 日.
- 3) 山崎和久: 歯周病菌, 動脈硬化を悪化. 日本歯科新聞, 2011 年 6 月 14 日.
- 4) 山崎和久: 歯周病菌の“悪作用” 解明. BSN 新潟放送 N スタ新潟, 2011 年 6 月 3 日.
- 5) 山崎和久: “歯周病が動脈硬化悪化” 仕組み解明. NHK ニュース, 2011 年 5 月 20 日.
- 6) 山崎和久: 動脈硬化症と歯周病の関連解明. 朝日新聞朝刊, 2011 年 5 月 20 日.
- 7) 山崎和久: 歯周病が動脈硬化を悪化, 仕組み解明. 読売新聞朝刊, 2011 年 5 月 20 日.
- 8) 山崎和久: 歯周病菌の動脈硬化悪化, 遺伝子レベルで証明. 毎日新聞朝刊, 2011 年 5 月 20 日.
- 9) 山崎和久: 歯周病菌が脂質代謝抑制. 新潟日報朝刊, 2011 年 5 月 20 日.
- 10) 山崎和久: 歯周病, 善玉コレステロール激減し動脈硬化も. YOMIURI ONLINE, 2011 年 5 月 20 日.
- 11) 山崎和久: 歯周病菌 動脈硬化悪化の因果関係, 遺伝子レベルで証明. m3news, 2011 年 5 月 20 日.